

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名
生活科学部栄養科学科	准教授	川野 美智代

## I 教育活動

教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
<p>(1) 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)</p> <p>① 国立熊本大学教育学部附属特別支援学校において文部技官・栄養教諭として、食教育において、フードの「すずちゃん人形」を教材として開発。3つの栄養素に合わせたランチョングロスを使用し、バイキング給食やセレクト給食において、楽しませつつ食指導をおこなう。個別指導においては、臨床栄養学を生かし個に応じた指導書を作成。保護者と担任との連携において、個のカルテ式指導書の作成とシステム作りをおこなう。一人一人をみつめた指導をおこなう。 全国大学で栄養教諭として、最初に「食育公開講座」を開講し、発信。また、ラジオ公開講座を開講。</p> <p>② 国立熊本大学教育学部附属小学校において、栄養教諭として、給食管理・食に関する指導をおこなった。各教科とコラボしての食指導を主におこなった。学校の論理科学研究において、グループ授業を軸とし、教科での食指導を特に高学年におこなった。低学年については、テレビ黒板を活用し、「食べ物の紙芝居」を開発や「食べ物カルタ」等を開発して指導をおこなった。また、附属特有の「料理科学クラブ」を立ち上げをおこなう。部活動における食指導は、保護者を含めスポーツ栄養学を生かした指導とし、学校全体の食育や文科省課題の体力向上に貢献できた。「食育公開講座」開講。 国立大学附属学校の栄養教諭・栄養士への食教育指導を行う。</p> <p>③ 財団勤務では栄養部に所属し、主に全国国立大学学生の、食生活調査研究をおこなう。まだ、スポーツ栄養という言葉が普及の無いころ、スポーツクラブ学生へのスポーツ栄養の指導をおこなう。また、海外研修等で食文化の研究をおこなう。</p> <p>④ 国立熊本大学附属病院において文部技官(管理栄養士)として、栄養指導・給食管理を行う。給食管理においては、新メニュー開発を治療食や一般食を全面的に行い、栄養指導においては、発達小児や糖尿病患者・アスリート患者への栄養指導を主に行う。また、糖尿病学会において、糖尿病食を生かした弁当開発を行い学会において提供をおこなった。</p>	<p>① 平成12年4月～21年3月</p> <p>② 平成21年4月～26年3月</p> <p>③ 昭和56年10月～平成6年3月</p> <p>④ 平成6年4月～12年4月</p>	<p>① 国立熊本大学教育学部附属特別支援学校において文部技官・栄養教諭として、食教育において、フードの「すずちゃん人形」を教材として開発し、一人一人のニーズに応じた食指導をおこなった。また、3つの栄養素に合わせたランチョングロスを使用し、バイキング給食やセレクト給食において、楽しませつつ食指導をおこなう。学校においては、個別指導が構築されていない頃に、個別指導において、個に応じた指導書を作成し、保護者と担任との連携において、個のカルテ式指導書の作成をおこなない、臨床栄養学的に、一人一人をみつめた指導をおこなう。 平成19年～25年まで7年間、食育がスタートして、どの学校においても、食育が手探り状態の中、教職員向けに公開講座を開講して、食育構築を発信した。 全国からの受講生があり、注目となり、ラジオにおいても講座がおこなわれた。</p> <p>② 給食管理・食に関する指導をおこなった。学校給食を生きた教材として、各教科とコラボしての食指導を主におこなった。学校の論理科学研究においては、グループ授業を軸とし、教科での食指導を特に高学年におこなった。低学年については、テレビ黒板を活用し、「食べ物の紙芝居」を開発しながら指導をおこなったり、「食べ物カルタ」を開発して指導をおこなった。また、附属特有の「料理科学クラブ」を立ち上げ、食べ物や食べる事の楽しさを科学から検証したり教えたりしながらの食教育をおこなった。部活動における食指導は、保護者を含めスポーツ栄養学を生かした指導とし、学校全体の食育や体力向上に貢献できた。公開講座は、特別支援学校より、継続して行い地域発信をおこなってきた。全国附属の栄養教諭、栄養士の会長として、公立学校の手本となるべく食育構築にあたり、教育指導を発信してきた。</p> <p>③ 全国国立大学において、学生食堂をととして栄養調査や指導をおこなってきた。当時、山口大学をはじめとする学生食堂における朝食バイキングでの食指導は、画期的で注目を集めた。また、3色の皿を使用した惣菜提供とした栄養指導や栄養定食を開発し、栄養価表示をおこなっていた。(現在では普通であるが) スポーツ栄養については、某専門学校とのコラボで、女子体育大学の新体操をはじめとするスポーツクラブ学生への指導をおこなってきた。食文化については、海外研修等で、大陸の食文化中心に学んできた。</p> <p>④ 国立熊本大学附属病院において文部技官(管理栄養士)として、栄養指導・給食管理を行う。給食管理においては、温冷配膳車が導入されたところであり、新メニュー開発を治療食や一般食を全面的に行い、当時はNSTはなかつが、病棟訪問を行い顔の見える給食管理指導をおこなってきた。栄養指導においては、発達小児や糖尿病患者・アスリート患者への栄養指導を主に行う。また、糖尿病学会において、糖尿病食を生かした弁当開発を行い学会において最初に提供をおこなった。</p>
<p>(3) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園・子ども園における食育推進研修講師</li> <li>・田迎子ども園</li> <li>・大道保育園</li> <li>・合志おんがく保育園</li> <li>・さくら幼楽園</li> <li>・北区ひでみ保育園</li> <li>・保育園・子ども園における食育推進研修講師(3件)</li> <li>・社会福祉法人ときわ会 ひなもり園講師(3回)</li> <li>・熊本回生会病院健康教室講演(嘉島町検診プロジェクト)</li> <li>・熊本県立松橋西支援学校研修会講師</li> </ul>	<p>平成28年</p> <p>平成27年</p> <p>平成28.2</p> <p>平成28.2</p> <p>平成26.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども園が広がる中、保幼における園の食育推進についての講義</li> <li>・同上</li> <li>・施設における、管理栄養士業務について</li> <li>・QOLの向上に薬にたつ食事の基本</li> <li>・特別支援学校における保護者との連携食育について</li> </ul>

・全国国立大学附属学校栄養教諭・栄養士研究会講師	平成26.7	・国立大学附属学校においての、栄養教諭・栄養士の職務の在り方
・国立大学附属幼稚園研修会講師	平成26.6	・幼稚園児の食育「3食(色リズムを子どもたちへ)」
・熊本県栄養教諭・栄養職員研究会(5年目以下)	平成26.1	・学校における食育構築について
・福岡県筑後市あさひ保育園職員・保護者研修講師	平成25.10	・就学前の園における食育推進充実のために
・福岡県筑後市保育士会研修講師(2回)	平成25.12	・保育士における食育推進の在り方について
・熊本市教育委員会栄養教諭・栄養職員研修会講師	平成24.11	・学校における栄養教諭・栄養職員による食育構築について
・熊本県人吉市栄養教諭・栄養職員研修講師	平成21.8	・栄養教諭の職務、「教科における食の指導」について 実践研究の講演
・熊本県立菊池養護学校研修講師	平成21.2	・学校における食育についての実践研究講演
・熊本県小川町生涯教育講師	平成21.8	・サプリメントの基礎知識について
・国立大学附属学校九州大会講師(栄養士部門)	平成22.8	・スポーツ栄養を含めた食育について
・熊本県特別支援研修会講師	平成19.2	・学校における個別指導の実践指導について
・熊本県教育委員会栄養教諭研修会講師	平成19.8	・栄養教諭がおこなう個別指導について
(4) その他教育活動上特記すべき事項		

## II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
(論文)					
1 Malnutrition in Alzheimer's disease, dementia with Lewy bodies, and frontotemporal lobar degeneration: comparison using serum albumin, total protein, and hemoglobin level. 共著 査読あり	共著 査読あり	平成28.5	PLoS One	Asuka Koyama, Mamoru Hashimoto, Hibiki Tanaka, Noboru Fujise, Masateru Matsushita, Yusuke Miyagawa, Yutaka Hatada, Ryuji Fukuhara, Noriko Hasegawa, Shuji Todani, Kengo Matsukuma, Michiyo Kawano, Manabu Ikeda.	
2生活習慣を見直し望ましい食習慣を实践できる子どもをめざして～本校における体力向上のための「食」からのアプローチ	単著 査読なし	平成26.7	国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要		
3体力を上げるための「食」からのアプローチ	単著 査読なし	平成24.10	くまもと小児保健第30号		
4生きた教材をとおして食への意識を高める指導の在り方～児童の部活動を通した食に関する指導～	単著 査読なし	平成23.7	国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要		
5特別支援学校と施設における栄養士の連携について	共著 査読なし	平成21.3	日本栄養士会 障害児施設と特別支援学校との連携モデル事業集	川野美智代 高野博文	

6健やかな体と心を育む学校給食(特別支援学校)～マナーを守ってバランスよく食べよう～	共著 査読なし	平成21.3	国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要	川野美智代 西村聖子	
7集団をみつめつつ個を大切にしたい「食」指導を目指して～一人一人のニーズに応じた食指導の実践～	単著 査読なし	平成19.7	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会発表書第48回		
8集団をみつめつつ個を大切にしたい「食」指導を目指して～一人一人のニーズに応じた食指導の実践～	単著 査読なし	平成19.3	熊本大学学習教育研究第5号・6号		
9望ましい食習慣を身につける子どもをめざして「食」に関する個別指導	単著 査読なし	平成18.3	国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要		
10「チャレンジ学習」ー総合的学習の時間「ソーセージをじょうずに作ろう」	単著 査読なし	平成13.11	国立大学附属学校栄養教諭・栄養士協議会研究紀要		
11大学生(医学系)に対する食生活状況調査について	単著 査読なし	平成元年11	文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会)		
12学生に対する食生活調査～魅力ある寮給食を目指して～	共著 査読なし	平成元年11	文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会)		
13沖縄の食文化について～庶民の食生活の中にその原点を探る～	共著 査読なし	昭和62.11	文部省後援大学食堂管理運営研究発表書(財団法人 学校福祉協会)	蔵本朝香 田村健一郎 川野美智代 河野裕美	

### Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

1.病院に併設する健康増進施設と行政との連携 ～生活習慣病重症化予防の取組み～	1.日本栄養改善学会 平成29年8月
2. 院内に併設した健康増進施設と地域行政における生活習慣病予防の取組み	2.日本体力医学学会 平成29年9月
3.病院に併設する運動型健康増進施設におけるQOL向上のための食指導を含む取組	3.日本栄養改善学会 平成28年9月
4.認知症患者における栄養状態と関連要因	4.国立熊本大学女性共同研究発表 平成27年10月
5.保育園における体験活動を通じた家庭での食育意識の変化について	5.日本栄養改善学会 平成27年9月
6.児童における体力を上げるための「食」からのアプローチ	6.日本栄養改善学会 平成26年8月
7.児童における体力を上げるための「食」からのアプローチ	7.日本臨床栄養学会 平成26年10月
8.集団をみつめつつ個を大切にしたい「食」指導を目指して～一人一人のニーズに応じた食指導の実践～	8.全国学校給食栄養教諭・栄養職員研究大会 平成19年7月
9.集団をみつめつつ個を大切にしたい「食」指導を目指して～一人一人のニーズに応じた食指導の実践～	9.国立大学附属学校栄養教諭栄養職員研究大会 平成18年8月

10.某高等専門学校生の食生活と骨密度の調査研究	10.文部省後援大学食堂管理運営研究発表大会 平成5年11月
11.大学生のマイキッチンテクニック(自炊生に対する食事指導)	11.文部省後援大学食堂管理運営研究発表大会 平成4年11月
「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」	平成28年5月～ 熊本大学大学院生命科学研究部と共同研究
国立熊本大学公開講座開講	平成19年～25年 「先生のための食育講座」開講
国立熊本大学ラジオ公開講座	平成24年11月 「食育講座」開講